

令和４年度の評価結果等に対する外部有識者からの主な意見

改 革 の 柱	I 県民の利便性の向上と効率的な業務の推進
取 組 項 目	1 県民の利便性の向上
取 組 名	(2) 手数料等や県税における多様な支払方法の導入
取 組 内 容	① 各種申請手続における手数料等をキャッシュレス納付できる仕組みの構築
主 な 意 見	・ 目標数値と令和４年度の実績値の乖離が大きいことから、今後の健闘を祈る。 ・ キャッシュレス納付できる仕組みを構築し県民の利便性向上を図るのみではなく、改革の柱にあるとおり「効率的な業務の推進」という観点でも取り組む必要があるのではないか。 ・ 現金で支払った場合と同様に、キャッシュレスで納付しても領収書が発行されるなど、デメリットがないようにすればキャッシュレス納付の更なる普及拡大が期待できると思う。

改 革 の 柱	I 県民の利便性の向上と効率的な業務の推進
取 組 項 目	2 効果的・効率的な業務の遂行
取 組 名	(2) 多様な行政ニーズに的確に対応するための体制整備
取 組 内 容	① 職員の専門性の向上や幅広い視野を得るための長期的視点に立った人事配置と研修の実施
主 な 意 見	・ 県では幅広い業務に従事することから、目標達成のためにはリスクリングが鍵になると思う。 ・ 資格取得のための費用を助成するだけでなく、業務に関する資格であれば休日以外であっても資格取得に向け注力できる環境を整えることがポイントになるのではないか。

令和4年度の評価結果等に対する外部有識者からの主な意見

改 革 の 柱	Ⅱ 官民対話の更なる促進
取 組 項 目	1 官民による双方向対話の促進
取 組 名	(1) 幅広い世代に伝わる広報の推進
取 組 内 容	② 利用者の視点によるウェブサイト・SNS等の点検・評価
主 な 意 見	・ 終了したイベントの告知情報がウェブサイトに残っている場合があるので、改善してほしい。 ・ 幅広い世代に情報を伝えることも重要であるが、ターゲットを広くすると情報がぼやけてしまったり、伝えたいところに伝わらないことがあるため、それぞれの世代に合った情報発信も必要になると思う。 ・ 美の国あきたネットのトップページは文字が多く感じることから、画像と合わせた形で最新情報などを掲載することで目に付きやすくなると思う。 ・ 美の国あきたネットは、県の窓口であり代表のウェブサイトであることから、県外や海外の方が見ても「秋田県の公式サイト」であることがわかるようにすればよりよくなると思う。 ・ 若者向けにSNSのように様々な人とつながることができるアプリを作成し、そのアプリを通じて秋田の最新情報を発信することで、県外にいても秋田の情報を得ることができたり、アプリを入れている人同士の交友の輪が広がり、秋田を思う気持ちが醸成されていくのではないかな。
そ の 他	・ テレワークは実証で終わらせず、子育て世代等の業務パフォーマンスがUPする事例もあることから、多様な生活形態に対応できる働き方の実現として、ぜひ県庁の勤務形態として定着させてほしい。 ・ 広報とともに広聴の充実にも努めていく必要があると思うが、幅広く意見を募る手法としてはパブリックコメント等もあることから、審議会は主に専門家の調査・審議の場として割り切るというような見直しをしてもよいのではないかな。 ・ 「行政改革の取組方針」の審議だけでも1つの委員会として成り立つと思う。ぜひ単独で開催してほしい。